

MSEPS (Max Sustainability Effort Product and Service) の実現に向けて、事業収支計画や官民連携の具体策について発表し、議論を行った。

日時：2022年8月2日（火） 場所：九州経済産業局

● 各社からの発表及び意見交換

SDGsブランディングや地域連携の可能性について検討したうえで、サステナビリティのための組織づくりとメカニズムについて学び、持続可能な事業創出に向けて考察を行った。

事前課題：自治体連携に向けた対応策



企業名	パートナー	連携の具体策	実施時期
#	〇〇県庁商工労働部商工政策課	県のSDGs認証制度を活用し、アドバイスをもらいながら取り組みの深化に繋げると共に、製品の認知度を上げブランディングに活用していく	次回公募時期の2022年9月～12月
1			
2		イメージ	
3			
4			
5			

© SDG PARTNERS, INC.

出所：田瀬代表の資料を元に作成

● 参加企業からのコメント

- 掘削機の電動化を図っていただくだけでなく、水素エンジンを動力源とした掘削機を検討することで、環境面に配慮したMSEPSの開発につなげたい。
- 現場で働くのは男性だけではなく、女性も働きやすくなるよう“現場女子”を推すことで、誰もが働きやすい環境づくりを行っていききたい。



株式会社ワイビーエム 吉田社長

● SDGパートナーズ(有)田瀬代表から講演



田瀬代表

- 多様性と包摂を実現するには、**衡平**という「**社会の構造の歪みを是正するためには、異なる人へは異なる措置が必要である**」という概念が重要であるが、日本でこの考え方は特別扱いではないか、等誤解され非常に理解されにくい。
- 良く強い組織を実現するには、**経営トップが阻害要因や課題を認識し、多様性実現につながる機会を積極的に創りに行く必要がある。**

● GTT研究会より総括

- 昨年度の「SDGs経営実践研究会」でSDGs経営の推進に向けた基礎的なことを学び、今年度はSDGs経営の実装ということで、実際の企業経営にSDGsの視点を落とし込んでいくことについて具体的に学ぶことができた。
- SDGパートナーズの田瀬代表からご指導いただき、GTT研究会の仲間と一緒に学ぶことができてよかった。
- 今後も各社がSDGsの達成に向けた取組を続け、数年後に（定期的に）お互いに良いフィードバックを行っていただけたらと思っている。

● 田瀬代表より総括

2年にわたる研究会を通じて、各社には「SDGsのゴールNo.〇〇の達成を目指してしていますか？」など、SDGs経営の表面的な部分については話しておらず、SDGs経営の本質的なことをお伝えしてきた。
今回の実装に向けた学びを活かしていただき、企業としてきれいな事で勝つ（利益を得ながら、社会に善を成す）を実践して頂きたい。